

【福祉科】

1年生 障がいの理解講習会

福祉科1年生が10月9日（水）3・4限に各務原市障がい者就労支援コーディネーター、各務原市手をつなぐ育成会の方にお越しいただき、障がいに対する基本的な考え方や接し方、ご家族の思いを聞くことができました。10月22日（火）から始まった介護実習では学んだことを活かしながら頑張っています。



～生徒感想～

- ・ヘルプマークは目には見えない障がいがあったり、困った時に助けてほしいというマークであることを知りました。一声掛けるだけでその方は安心することができるため、ヘルプマークを付けている方が困っていたら声をかけられる人になりたいと思いました。また、友達と自分が違うように人それぞれ違いがあるため、その違いをマイナスに捉えず、個性として捉えることが大切だと思いました。
- ・「私の席」という詩を読んで、自分の優しい行いは誰かの目に入り、それが優しさを広げていくのだと感じました。日常生活の中で自分も優しい気持ちを忘れずに優しさを連鎖させていきたいです。今日の講義で、一人ひとりの違いを理解して、その違いで差別せずに理解し合うことが大切だと思いました。次回の実習で初めて障がい者の方と関わるので、第一印象で相手を決めつけずに、自分から関わる中で相手を理解していきたいです。